

第1回 佐賀市学校給食費検討委員会
会 議 録

開催日	令和7年8月4日（月）	
開催時間	午前9時30分～午前11時00分	
開催場所	佐賀市役所 大財別館4階 4-3会議室	
出席者	検討委員	福山委員長、泊副委員長、小野委員、益田委員、山口委員、金丸委員、前田委員、中尾委員、百武委員、畑瀬委員
	事務局	豊田教育部長、川副学事課長 他
議事	佐賀市の学校給食費について	
欠席委員	なし	
傍聴者	なし	
報道関係者	佐賀新聞社、NHK佐賀放送局、読売新聞、サガテレビ	

議事

佐賀市の学校給食費について（事務局）

配布資料【資料1】～【資料7】に沿って説明

（委員長）

- ・事務局からの説明についての質疑はあるか。

（委員）

- ・現在の給食費への補助額が多かったことに驚いた。物価が高騰している現状、現在の給食費（保護者負担額）が適正でないことは認知していた。その一方で保護者負担額を上げないでほしいという思いもある。もし、このまま給食費（保護者負担額）を上げない場合、何か手立てはあるのか。

（事務局）

- ・現在行っている補助は、国の交付金を活用している。今後どうなるかわからないが、国の交付金があれば活用したい。

（委員）

- ・代替案としては、今のところ無いということか。

（事務局）

- ・市全体の予算に係るため、ここで回答することは難しい。保護者負担額についてはあらためて検討が必要だと考えている。

（委員）

- ・食材の高騰で給食費が上がることについては理解できる。食以外にも子育てにはお金がかかるため、最低限の値上げ額にしてほしい。

（委員）

- ・この金額で給食が作られていることに驚いている。子どもには、楽しくおいしく給食を食べてほしい。食材の高騰で保護者負担額が増えるのは仕方がない。

（委員）

- ・値上げは仕方ないと思う。給食費と同じ額で弁当は作れない。県内他市より佐賀市の給食費が高い理由は何か。他市ではどのような取り組みをしているのか。

（事務局）

- ・特に理由は無いが、価格の上昇を考慮して、補助をしている。給食費については他市でも見直しを検討されているのではないかと思う。

（委員）

- ・去年は物価高騰で、ゼリーや果物はつけず、魚や肉の回数を減らすなどで何とか対応した。今年度は、7月までで1食あたり285.8円で給食を作っている。310円であれ

ば現在の物価高騰でも十分に対応できる金額だと思う。中学校の給食費は、完全給食と選択制給食で異なり、牛乳代を除くと完全給食の方が安くなっているが、選択制給食に合わせた方がよいのではないか。

(委員)

- ・ 昨年はかなり苦労した。旬の果物はつけず、魚や肉の回数を減らすなど調整が大変であった。給食費については数年前から補助をもらっているが、補助額の決定が遅いため、見通しが立たず献立作成にも影響した。今年度は、早い時期に補助金をいただけたため助かった。国の交付金がなくても運営できるよう、保護者負担額をあげてほしい。

(委員)

- ・ 今の給食費で毎日あの献立を作っているのはすごいと思う。見た目も味も良く、量もちょうどよい内容で、子どもにプラスになる給食であると感じている。本校に給食を提供している給食センターでは、学校で育てたじゃがいもやしいたけを給食で使用するなど、学校と連携をはかり、栄養士が節約してなんとか給食運営をされている。昨年度の会計報告では、なんとか赤字にならなかったと報告を受けた。もし、赤字になった場合はどうなるのか。赤字になった学校等はあるのか。

(事務局)

- ・ 給食会計では赤字にならないように栄養士の先生に調整をお願いしている。赤字が出たという報告は受けていない。

(委員)

- ・ 選択制給食である本校では、5割強の生徒が給食を申し込んでいる。自身の子も給食を食べているため、家で給食の話ができるのが嬉しい。10月以降もいろんな品目で価格が上がるようである。自治体によって給食費を無償化しているところもある。保護者負担はできるだけ市でみてほしい。

(委員)

- ・ 給食は安全安心なものを提供することが原則であり、それに加え栄養士は栄養バランスや金額の調整も行っており、栄養士の負担が大きくなっている。補助に頼ることは恒久的ではない。物価高騰が続けば、そのうちこの価格ではやっていけないといった声が納入業者から出てくるのでないか。給食費の運用について、どのように調整をしているのか、栄養教諭の委員にお尋ねしたい。

(委員)

- ・ 1食あたりの給食費が決まっているため、食材の支払いに支障が出ないように、品数を減らしたり(3品→2品)、肉・魚の大きさを小さくしたりしている。

(委員)

- ・ 野菜については、高くなったら業者から連絡をもらい、今安いものを教えてもらったり、

提供する量を減らしたりしている。

(委員長)

- ・様々な意見が挙がったが、学校給食費を値上げすることについては、すべての委員から賛同いただいたということでよいか。→異議なし
- それでは、具体的な金額について、意見はあるか。

(委員)

- ・1学期は少し余裕があったが、2学期は野菜の高騰具合も読めないため、今年度の補助後の食材料費は維持してほしい。

(委員)

- ・1学期の様子では、最低300円は必要だと思う。

(委員)

- ・安全安心に提供することが担保できないのであればあげるべきだが、保護者負担額をいきなりあげるのは負担が大きくなるのではないか。例えば、3ヶ年などで毎年徐々に増やしていけばよいのではないか。

(委員)

- ・家が農家で米や野菜の価格が高騰しているのはわかるが、給食費の値上げは最低限にしてほしい。

(委員)

- ・給食費が上がろうと申し込む家庭は申し込む。給食は栄養バランスがよく、給食費が上がっても理解はされると思う。

(委員)

- ・値上げは仕方ないと思う。金額についてはよくわからない。

(委員長)

- ・学校現場側と保護者側から様々な意見が出た。これらの意見を踏まえ、次回の会議で学校給食費の改定案について、最終的に決定したい。また、本日の会議で出た意見等を基に事務局に答申案を作成してもらい、答申案について協議してもらいたい。→異議なし

閉会